

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 高齢者の住まいと暮らしを支える地域福祉について 【質問趣旨】 高齢化の進展により、独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加、住まいや移動手段の確保、孤立防止など、地域福祉における課題が複雑化・深刻化している。 本市では、シルバーハウジングやIoT高齢者見守り事業「もーやっこサポート」、居住支援協議会、地域包括ケアシステム、交通施策など多様な制度が展開されているが、制度の実効性や支援の到達状況、人材確保、地域連携の面で課題が指摘されている。 特に、支援が本当に必要な高齢者に確実に届いているか、制度の隙間に取り残される方	(1) 住まいの確保と居住支援	①本市では「高齢者世話付き住宅（シルバーハウジング）」を整備し、生活援助員（ライフサポートアドバイザー）を配置する支援体制を構築している。対象は身体機能の低下等のある高齢者世帯で、生活相談・安否確認・緊急対応などの支援が提供されているが、どのような課題があるか伺う。 ②高齢化の進展と単身高齢者の増加を踏まえ、本市における高齢者世話付き住宅の今後の整備方針や供給見通しについて、地域包括ケアシステム構想との整合性も含め考えを伺う。 ③高齢者世話付き住宅における生活援助員と地域包括支援センター、民生委員、地域住民との連携体制はどのように構築されているか伺う。 ④生活援助員の現在の確保状況と課題、今後の人材育成・支援体制の強化策について伺う。 ⑤高齢者世話付き住宅の一部はかなり築年数が経過しており、バリアフリー性や安全性の確保など今後の改修・長寿命化計画と、入居者の安全確保に向けた対応方針について伺う。 ⑥令和2年に瀬戸市居住支援協議会は設立され、住宅確保要配慮者への支援を目的としているが、現在まで支援対象者の住宅確保に対する実効性等について、どのような課題があるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
がないかという視点が重要であるとする。 こうした現状を踏まえ、安心して暮らせる地域福祉の構築に向けて、市がどのような姿勢で制度運用や改善に取り組んでいるのか伺う。	(2) 見守り・孤立防止について	⑦同協議会では高齢者の単身世帯や無年金者、障害者など、住宅確保要配慮者の実態把握はどのように行われているのか伺う。 ⑧家賃支払い困難や孤立リスクといった課題に対して、どのような対応策を講じているのか伺う。 ⑨民間賃貸住宅オーナーとの連携促進に向けて、本市としてどのような啓発活動やインセンティブを提供し、貸主側の不安や拒否感を解消する取り組みを行っているのか伺う。 ⑩IoT 見守り事業として導入された高齢者見守りシステム『もーやっこサポート』であるが、令和6年時点での登録者数は68名と伸び悩んでいる。市としてこの状況をどのように分析し、課題をどのように認識しているのか伺う。 ⑪『もーやっこサポート』の月額980円の利用料が心理的・経済的なハードルになっているとの声もあるが、利用料の見直しや免除制度の拡充について、市として検討していることはあるのか伺う。 ⑫高齢者見守りシステムの制度周知や申請支援について、高齢者本人や家族が制度を知り、安心して申請できる環境整備が必要と考えるが、地域包括支援センターや民生委員との連携はどのように行われているのか、現状と課題を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		④災害時支援台帳との連携について、『もーやっこネットワークシステム』の利用者情報を災害時の安否確認や避難支援に活用する仕組みの整備がなされると聞いているが、進捗状況と課題を伺う。 ⑤民生委員による見守り活動は地域福祉にとって不可欠なものであるが、活動負担や高齢化による担い手不足が課題とされている。市として、民生委員の活動支援や負担軽減策についてどのような取り組みをしているか伺う。 ⑥高齢者の支援において、民生委員から地域包括支援センターへの情報共有や引き継ぎはどのように行われているか伺う。 ⑦本市における高齢者、特に独居高齢者や高齢者のみ世帯の孤立リスク増加に対する対応方針を伺う。 ⑧高齢者見守りシステムなどの ICT・IoT を活用した見守り事業は、孤立防止に有効と考えるが、今後の拡充方針や地域ネットワークとの連携について、市の見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 地域包括ケアシステムの推進	①地域包括支援センターは、高齢者の介護予防、生活支援、権利擁護などを担う中核機関として、地域福祉の要となっている。本市におけるセンターの人員体制や専門職配置、相談件数の推移などを踏まえ、現状の機能と課題をどのように認識しているか伺う。 ②同センターの市内における担当地域の人口規模や地理的条件には偏在が見られる。特に、高齢化率が高い地域や交通アクセスが限られる地域において、支援が行き届きにくい状況があると認識している。市として、地域間の支援格差やセンターの担当地域の偏在についてどのように把握し、是正に向けた方針があるのか伺う。 ③本市では、介護予防・重度化防止を目的とした各種施策が展開されているが、これらの施策が高齢者の生活機能維持や要介護化の抑制にどの程度効果を上げ、実効性についてどのように現状を評価しているか市の見解を伺う。 ④高齢者の生活支援や見守り、居住支援など多様な福祉施策が行われているが、これらの支援が本当に必要とされる高齢者に確実に届いているかどうか、制度運用の実態と到達状況についてどのように評価しているのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 高齢者の買い物支援について	⑤高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、行政による支援だけでなく、地域住民との協働による支え合い体制の構築が不可欠である。本市では、民生委員や地域包括支援センターを中心とした支援体制が整備されているが、地域住民が主体的に関わる仕組みや、住民同士の助け合いを促進する取り組みについての現状と課題認識、今後の方針を伺う。 ①本市では買い物困難者支援として位置づけられるサービスとして、配食サービスや高齢者移動支援推進事業の枠組みの中でのスーパーなどへの外出支援を行っている。それぞれの現状と課題を伺う。 ②瀬戸市社会福祉協議会が運用する地域福祉パートナーシップ事業者認定制度について、現在認定されている事業者の業種や活動内容の傾向を伺う。 ③市内には、公共交通の空白地や高齢化が進む地域が存在し、日常の買い物に困難を抱える高齢者も少なくない。こうした地域課題に対して、制度を活用した支援の可能性について市の見解を伺う。 ④小牧市では、ローソンストア 100 やマックスバリュ東海などの移動販売事業者が、地域福祉パートナーとして認定され、買い物支援と見守り活動を兼ねた取り組みを行っている。本市においても、同様の事業者を認定対象とすることで、地域福祉の充実が図れると考えるが、制度運用の柔軟性や今後の検討方針について伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 高齢者の移動手段について (6) 交通施策と福祉施策の連携について	①市内には、公共交通が十分に整備されていない地域が存在し、高齢者や障がい者を中心に移動困難な状況が見受けられる。市として、こうした交通空白地の現状をどのように把握し、対応しているのか伺う ②2024 年 4 月から国が一部地域でライドシェア制度を解禁し、タクシー不足や交通空白地への対応策として注目されている。本市として、国の制度動向をどのように捉えているか、導入可能性についての検討状況も伺う。 ① 高齢者や障がいのある方が地域で安心して暮らし続けるためには、交通施策と福祉施策が連携し、都市計画や地域包括ケアシステムの枠組みと整合的に設計されることが大切であると考え。特に、交通施策が単なる交通施策にとどまらず、生活支援・社会参加・健康維持の観点からも位置づけられるべきと考えるが市の見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。